



愛協だより vol.51

高橋 功成 常務理事 挨拶

この度は、新築により令和4年4月1日に開設した武佐の里について紹介します。

武佐の里はユニット型特別養護老人ホームで、利用者さん10名で1ユニット、全部で6つのユニットでできています。ユニット型の特徴である、ご家庭から引き続きアットホームさを感じてもらえる工夫がされています。たとえば、顔なじみの職員がケアできるよう、ユニットごとの職員でシフトを組んだり、ご家庭での食事づくりを香りでも感じてもらうため、ユニット職員がユニットごとにお米を炊いて、おかずの盛りつけもユニットでしています。

武佐の里で他にも力を入れていることは、長生園と同様ICT機器を積極的に導入し職員の負担軽減を図っていることのほか、特定技能外国人材の登用に力をいれています。今、全員で13名採用していて、すべてフィリピンから受入れをしています。彼女たちは、いつも笑顔で一生懸命仕事をしてくれ、プライベートでは日本語の勉強も頑張っています。異国の地で働く若者たちを、自分たちの兄弟やこどものように育ててくれている職員にととても感謝しています。

フィリピンからきた彼女たちにとって、釧路での生活と武佐の里での仕事が人生の大きな宝になるよう、武佐の里ではみんなが頑張っています。

今後も長生園と同じようにチームアプローチやサービス生産性向上委員会の業務改善を推し進め、利用者さんが住みやすく、職員がより働きやすい施設づくりをみんなで実現していきたいと思っています。

【特別養護老人ホーム武佐の里】

【利用者数】令和7年8月1日 現在
入所 57名 短期宿泊 1名

武佐の里は高齢者福祉の中核的役割を担うため養護老人ホーム長生園と一体的に建設され、地域とのつながりを大切にする施設づくりを目指してきました。

利用者さんにとって「その人らしい尊厳のある暮らし」を実現するには、専門職による多角的な支援が欠かせません。利用者さんの毎日を支えるために、職員はお互いの視点を持ち寄り連携を図りながら日々の業務にあたっています。職員1人ひとりの想いを乗せて、みんなで武佐の里をつくっています。

今号では、武佐の里で働く職員の皆さんへインタビューをしました。ぜひ最後までご覧ください。



武佐の里は、法人本部・長生園と同じ敷地内にあり、ひとつの建物としてつながっています。



介護課

武佐の里開設から丸3年が経ちました。コロナ禍では、スタッフ間で『早期終息しよう』という強い気持ち

を共有し、チームワークを高めながら職員個々への感染対策・予防策の共有を図り、早期終息に努めてきました。寄り添う気持ちや1人ひとりの意思を尊重することを大切にしながら、もっと利用者さんや職員にとって最高の場所にしていきたいです。

特定技能外国人材については、まだまだ言語の壁が課題だと感じています。今後も積極的にコミュニケーションを図りながら、彼女たちのニーズに出来る限り応えていくことで、彼女たちの意欲向上に繋がっていきたくて考えています。

彼女たちが武佐の里へ来てから、施設全体に元気と笑顔が増えましたし、私自身を含め職員たちにも彼女たちの見本となるよう初心を思い出すような意識の変化が感じられます。

これからも共に歩んでいけるよう、より良い環境づくりに努めていきます。

S.T

課長 〈介護福祉士〉



8月12日に行われた夏まつりの様子

利用者さんご家族さんに安心して過ごしてもらえるよう、また、「ここに来て良かった」と思ってもらえる介護を大切にしています。短期宿泊の利用者さんで「ここしか使わないんだ」という方もいらっしゃるって、職員の対応が良いチームワークとなった結果、そうしてもらえた時にはやりがいを感じます。

特定技能外国人材については、1期生の存在が2期生の成長をあと押しし、さらに10人の先輩がいることで3期生の成長もとても早く感じられます。仕事を教えるのは私たちでも、先輩をみて学んだり、特定技能外国人材の子たち同士で教え合う姿もみられます。利用者さんも彼女たちを慕っているので、マンパワーとなり助かっています。

仕事の間ではあるけれど、彼女たちが自然体で仕事と向き合えるよう、少し気を抜ける瞬間があっても良いんだよという雰囲気、日常的に雑談を交えながら相手の文化や気持ちを受け入れる姿勢をもつように心がけています。

F.O

主任

〈介護福祉士〉

洗濯員



武佐の里・長生園利用者さんに関する洗濯業務全般を3名の洗濯員で行っています。衣類・寝具・タオル類を各ユニットから回収し、洗濯・乾燥したのち区分けして各ユニットへ届けます。コロナ禍では自身の感染防止対策も行いながら、5類移行後も万が一に備えて原則他のものと別作業とすることで、他エリアへの感染拡大防止に努めました。

利用者さんと直接ふれ合うことは少ないですが、全ては利用者さんのため、清潔な衣服で過ごされ、きれいな寝具でゆっくりとお休みになれるよう、縁の下での力持的存在として日々の業務に励んでいます。また、LINEworks活用にて他部署への情報発信・情報共有をするほか、作業の効率化・時間短縮・経費削減を念頭に、今後も弛まぬ努力を続けていく所存です。

Y.S

さん



栄養士



栄養士は他の職種と比べ少人数の職種となりますので、他職種の方に助けをいただくことも多く、各職種の専門的な知識を日々の会話で学ばせていただきながら、感謝の気持ちを忘れずに日々過ごしております。

また、ミールラウンド時に得た情報を各課に相談・報告することで、より良い食支援ができるように努めています。利用者さんが顔を覚えてくださり、「いつもありがとうね」「美味しいよ」と声をかけていただいた時は嬉しくやりがいを感じます。

個別計画書の作成にあたっては、利用者さんの身長・体重から、痩せ・肥満の判断をして、食事量・体重の変化等の情報から低栄養状態のリスクを3段階で評価しています。低栄養のリスクがある利用者さんの栄養面での課題を見つけ、各課で相談し合い改善策を検討します。リスクのない利用者さんについても現在の栄養状態を維持するため、課題が生じた場合は各課と連携をとりながら早期対応に努めています。

各課で話し合った内容を基に栄養ケア計画書を作り、各課で共有して栄養ケアを行い、計画書を基にミールラウンドやモニタリングを行っていき3ヶ月毎に更新します。今後もより利用者さん1人ひとりに合った計画書を作成していきたいと考えています。



K.K 管理栄養士

医務課

個別機能訓練計画については、利用者さんが生活の中でできる運動を日々行うことで、身体機能や認知機能を維持することを目的として作成しています。計画書を作成する際には、個人の性格や身体機能に合わせて楽しく運動することを意識したり、ユニット職員とも話し合いながら、少しでも前向きな気持ちで取り組んでもらえるよう1人ひとりに合ったリハビリを行えるよう努めています。

機能訓練の成果はすぐに見えるものばかりではありませんが、ユニット職員とも連携を図りながら、利用者さんの変化を見逃さず、今後も利用者さんに寄り添った機能訓練の充実を図っていきたいと思います。

機能訓練指導員

M.I

課長〈看護師〉



生活相談員の業務は、入居およびショートステイに関する相談対応をはじめ、病院や居宅ケアマネージャーなど外部関係機関との連携、居室の調整、施設説明や営業活動、送迎業務、各課への情報共有などを行っております。

施設の相談業務を通して『施設に入居する』という決断が、ご本人やご家族にとってどれほどの覚悟を伴うものであるかを日々感じさせられます。その笑顔の奥には、諦めや葛藤、後ろめたさといった複雑な思いがにじんでおり、どのように寄り添うべきか悩むこともあります。

そんな時、共に働く職員の存在が大きな支えとなります。それぞれの分野における専門性と思いが進むべき方向を示してくれます。武佐の里職員一同、ご本人やご家族の思いに寄り添いながら、それぞれの人生を尊重し共に歩む存在であり続けたいと思っています。

M.E

相談員

〈社会福祉士・介護福祉士
主任介護支援専門員〉

生活相談係

特定技能外国人材 3期生

WELCOME!

今年の4月30日、武佐の里へ特定技能外国人材3期生となる3名の職員が新たに仲間入りしました。1期生4名・2期生6名と、合わせて13名となった彼女たち。今では先輩・後輩としてお互いに支え合いながら、協力して日々のお仕事や日本での生活に向き合っています。

文化や言葉の違いを乗り越え、ひたむきに努力を重ねながらチームの一員として着実に成長していく彼女たちの姿には自然と心を打たれ背筋が伸びる思いです。みなさん応援よろしくお願いいたします。

Q.日本に来た日の心境は？

夢の国に着いたので嬉しくて
わくわくしていました。

Q.最近覚えた日本語は？

しゃっこい

Q.嬉しかったことは？

お年寄りの方が私に
「優しい」と言って
くれたことです。



愛称：□□□□

さん(21)

Q.日本に来た日の心境は？

緊張もしたし、嬉しかったです。

Q.最近覚えた日本語は？

びじん

Q.日本人に言われて嬉しかったことは？

私を抱きしめて「がんばってね」と
言ってくれたことです。

Q.日本の印象を教えてください

平和な場所です。

Q.釧路で行ってみたい場所は？

阿寒湖です。

※ちなみに3人とも共通して“阿寒湖”でした！
阿寒湖のきれいな景色をみたいそうです😊

Q.最近覚えた日本語は？

ちょうだい、めんこい

Q.日本人に言われて
嬉しかったことは？

安心して心を開いてね！



さん(21)

愛称：□□

公式SNS はじめました



編集後記

ひたむきでまっすぐな特定技能外国人材の彼女たちと、彼女たちを家族のように見守りながら支える職員が作り出す雰囲気が、利用者さんの毎日の暮らしに活気とあたたかさをもたらしているのだと改めて感じられる現場でした。どの職種・どの立場から目線の利用者さんと職員のためにできることを考え続けている姿勢がとても誠実で素敵だなと感じています。

記：本部 M.H



ホームページ



X



YouTube



Instagram

掲載希望の場合は
本部 Y.H
またはM.H
まで♪